

台風4号で冠水した圃場とカワラノギク幼苗

梅雨の時期と重なった台風4号は60キロを超える速い速度で進み各地で激しい雨をもたらせた。相模川上流の圃場を見に行ったAさんの情報では、柵250トン/秒を短時間だが放流したそうである。寒川の神川橋下圃場は19日夕方から20日夜まで冠水で流木や土砂(シルト)流入が懸念された。

台風通過から一夜明けた圃場、2日後の水が引いた後の圃場とカワラノギク幼苗



毎回、同じ風景だが上流のダム放流による増水の影響は圃場当たりまでのようだ。



大きなものはないが、流木やゴミが圃場に散乱して留まっている。(勿論、流木は除去)



これまでのシルトとは違い砂の堆積が多くみられるが、上流からのものか圃場近くか不明。



玉石の間にも土砂が積もっている。玉石に助けられ石の周りは比較的土砂から顔を出している。



6/17(日)に刈り取ったシナダレスズメガヤは流されて圃場周りも綺麗になった。



将来のカワラノギクサポーターも玉石の間の幼苗を見て”にっこり”と微笑む。

